

令和5年子供に関する定点調査検討会議（第1回）

議事要旨

日時：令和5年1月31日（火）10:00～12:00

場所：都庁第二本庁舎31階特別会議室26

※オンサイト及びオンライン（Teams）の併用

参加者：○オンサイト出席

西田 淳志委員・森田 明美委員・渡辺 由美子委員

石賀 裕委員・小平 房代委員・田谷 拡之委員

○オンライン出席

池本 美香委員・伊藤 美奈子委員・松原 康雄委員

【議事】

（1）調査項目検討にあたっての視点

<意見等>

- ・ 令和5年に行う1回目の調査については、実施した上で課題を十分に検証し、令和6年の調査設計に繋げていくことが必要と考える。
- ・ 調査を設計する段階で子供たちに意見を聞くことが重要である。
- ・ 本定点調査では、他国の子供と比較することで、東京ないし日本の子供特有の課題であるかどうかを検証できるよう、国際比較可能な準備をするべきである。

（2）調査対象設定（案）

<意見等>

- ・ 3歳児の保護者、小学校低学年の保護者、小学5年生、中学2年生、17歳の子供とその保護者を調査対象とするほか、小学校低学年の子供自身についても調査対象とするべきである。

（3）調査方法（案）及び目標回収サンプル数（案）

<意見等>

- ・ 子供自身の回答をひきだせるように、調査方法等については工夫する必要がある。

（4）調査対象の抽出方法（案）

<意見等>

- ・ 特に無し

（5）設問数（案）

<意見等>

- ・ 子供や保護者向けに40問から50問程度質問する方向であるが、設問数を40問から50問に厳選するには、十分に検討する必要がある。